

人権同和教育の全体計画

学校の経営方針（児童の育成に関連する項目）

- (1) 自尊感情を育み、自信をつける。
- (2) 言語能力の確実な育成と学力の向上を図る。
- (3) 正しい生活習慣の徹底と体力・運動能力の向上を図ること。

関係法令等

日本国憲法第11、14条
【基本的人権】
【平等原則】
人権教育及び人権啓発の
推進に関する法律(H12)
人権教育・啓発に関する
基本計画(H14)
部落差別解消推進法(H28)

学校教育目標

『健康で学ぶ力と豊かな心をもち、
自信に満ちたたくましい菱田っ子の育成』

キャッチフレーズ

“みんなやれる！伸びる！ひまわりの学校”

児童の課題

- ・自己肯定感の育成
- ・公平な態度（自分の言動に気づく力）

地域の課題

- ・子どもの人権及び、学校における人権同和教育の取組への理解

人権同和教育の目標

- I 人権尊重の精神に徹し、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題について正しい理解と認識を深め、学校教育全体を通して、偏見や差別をなくしていこうとする意欲と実践力をもった子どもを育てる。
- II 教職員自ら人権同和教育に対する正しい理解と認識を深め、子どもや保護者との信頼関係をつくり、一人一人の基本的人権を尊重する教育を実践する。

各教科等の重点

- 【国語】 コミュニケーション能力、生活を見つめ文章で綴る力
- 【社会】 社会生活や社会の仕組みの理解
- 【算数】 論理的な思考力
- 【理科】 科学的な視点・思考力の育成
- 【音楽】 情操と創造性の育成
- 【図工】 情操と創造性の育成
- 【家庭】 衣食住生活を営む力
- 【体育】 生命尊重と仲間づくり
- 【生活】 社会や自然との関わり、自立の基礎
- 【道徳】 自分の考えや意見の伝達、自分と異なる意見や立場の尊重
- 【外国語】 外国の異文化を理解し、尊重し合う態度の育成

学年部ごとの重点目標

- 低学年・・・身のまわりの問題に気づき、互いに励まし合い、仲間と共によりよい集団を目指す意欲を育てる。
- 中学年・・・身近な人権問題について、偏見や差別に気づきそれを仲間と共になくそうとする意欲を育てる。
- 高学年・・・社会の様々な人権課題について、その差別の歴史や仕組み、差別する心理について自分の生活と結びつけながら学習し、仲間と共に差別をなくそうとする意欲と実践力を育てる。

他の教育活動との関連

- 【特別活動】 自主的、自治的集団づくりと、話し合い活動を通じた生活の充実、及び、問題解決力の育成
- 【総合的な学習】
 - ・自分たちのふるさとや社会を見つめ考える力の育成
 - ・自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関する両方の視点を踏まえた人間性等の育成

家庭地域との連携

- ・家庭訪問やPTAを通じた保護者の啓発と連携
- ・運動会や授業参観（発表会）への招待と交流
- ・地域の方とのふれあい活動を通じた交流
- ・分館や民生委員との連携

学校間の連携

- ・教育課程や実践等の交流と連携
- 町内各保育園・幼稚園
- 大崎中学校
- 町内各小中学校
- 町人権同和教育担当者会
- 曾於地区内の各小中高等学校

職員研修

本校児童の持つ課題と社会が抱える人権問題に即した教育活動を進めるため、より実践的な学習活動の構築に向けて学校内外での研修を推進する。

人権同和教育年間計画

(時期や内容の詳細は変更あり)

月	行事	授業・学習	校内研修
4月	いじめを考える週間 ひまわりタイム	6年総合「字を勉強したい」	研修「落書き事件の概要」
5月	ひまわりタイム		研修「年間計画」(年3回実施)
6月	人権週間 ひまわりタイム	仲間づくり① ひまわり集会②	
7月		6年総合「室町文化をつくった人々」	
8月	戦争に関する話(出校日)		研修「人権同和教育上の課題」(講師)
9月	いじめを考える週間	6年総合「人々の暮らしと身分」 仲間づくり①	
10月	ひまわりタイム	6年総合「医学の発展を支えた人々」 6年総合「渋染一揆」 6年総合「解放令」	
11月	ひまわりタイム	心の教育の日(道徳授業) 6年総合「全国水平社の運動」	
12月	人権週間	仲間づくり②	
1月			研修「1年間の取組のまとめ」
2月	ひまわりタイム 人権週間	人権作文発表会② 仲間づくり①	
3月			
備考	ひまわりタイム 8:30～ 8:45	知的理解を深める学習 (テーマ学習)と人権感覚を 育む学習(仲間づくり)を年 間を通して行う。	研修内容は職員の異動・交 代も考え、テーマと内容を設 定する。 研修内容に応じて講師を招 聘する。